



落合慎悟県議

静岡県議会報告
2015年冬号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

11月5~13日 25年度決算特別委員会開催



25年度決算を審査する決算特別委員会は昨年から各常任委員会別に審査となった。
事前に各部局ごとの施策展開表など決算資料が配布され、1か月間の勉強期間がある。

初日の5日は正副委員長を決定し、代表監査委員から監査結果報告・意見を受けた。
各部共通な指摘事項は「事業継続の縮減」「不用額の縮減」「収入未済額の縮減」である。

警察本部関係では「震災時に井戸がある警察署の手動式水栓ポンプと非常用発電機が72時間以上稼働可能の燃料タンクの整備状況」など5項目について問質した。

教育委員会関係では「家庭で栄養バランスのとれた朝食を取っている幼児児童の割合が4.4%も減った原因と対策」など4項目について問質した。



次世代人材育成特別委員会 1月13日提言書作成



当委員会は「学力向上対策やスポーツ振興、文化活動などによる次世代を担う人材の育成に関する事項」を付託調査事項として、5月15日に設置されて以来、6回にわたり委員会を開催してきた。

この間、執行部に対し、次世代の人材を育成する取り組みなどについて説明を求め、現在行っている施策等について調査を行った。

また、大分県、福岡県において、国際性や職業観を養うための取組、国際バカラア機構の教育プログラムの導入及び産業人材の育成などについて調査を行った。更に、県立大学長、静大大学院、静岡文芸大学、浜松学院、静岡産業大学の教授や研究員を招致し、意見を聴取した。

11月20日 県内病院施設視察 志太榛原地区 特定医療法人沖縄徳洲会 榛原総合病院・医療法人社団 藤枝平成記念病院



榛原総合病院は牧之原市・吉田町の榛原総合病院組合が開設した公設病院。平成16～18年に西・南・東館病棟が完成し、500床の大型病院となったが、医師離れて経営が行き詰まり、平成22年、指定管理者として沖縄徳洲会に移行した。人口規模5万人にしては過大で使用されていない病棟が勿体ない。

看護師の案内で病院内を視察したが看護師たちは活き活きと活動していた。

許可病床450床 積極病床一般141床、療養42床、一般10:1・療養25:1

診療科目24科、医師27人、看護職員130人



平成記念病院は良質高水準の医療の提供を基本理念とし、患者様第一主義をモットーに平成元年に発足した。脳神経外科は全国トップレベルの医療で全国から患者が訪れる。最新の放射線治療器も導入し、高度急性期医療を進めている。

病院の看護部長が県看護連盟藤枝焼津地区支部長であり、病院内の看護現場状況を伺い、病院内の改善や改革に積極的に取組んでいることが理解できた。

一般113床、療養86床 一般7:1 療養20:1

診療科目16科、医師17人、看護師121人

大石看護部長から病院の取組や看護師の処遇状況など伺い、今後の参考とした。

各地区行事参加



12/11 藤枝総合病院救急センター落成・3月開院予定
救急・災害、がん診療と急性期医療を担う総合病院

1/4 藤枝市消防出初式 蓮華寺池で15分間放水
女性指揮官のタクトで消防音楽隊が演奏披露

漸古自治会主催の「どんど焼き」は6年続いている。
正月飾りを燃した残り火で餅を焼き、食べる。

各地区から要望

各地区からの要望が多くなっている。岡部町殷橋下流側の竹林撤去は27~28年工事、予算約4千万円。(大龍勢時に駐車場として活用)



広幡水守地区女性からの要望。葉梨川は土砂堆積・草丈2m余、鬼島町内会長と現況視察し、土木事務所に要請。11月に河川清掃・堆積均し工事実施完了。

10月の台風後、葉梨下蔽田地区的山に倒木発生、急傾斜地崩壊危険区域未指定地の為、緊急に県指定手続の測量調査を開始準備している。

藤小前の道路にある楠木の樹勢が弱くなっている。昔、青年婦人会館があった想いでいる場所である。楠木の保護対策を要望。

参加者募集 落合政経塾

毎月第一水曜日19:00~21:15
今後予定 3/4(水) 4/1(水) 5/6(水)
常任講師の高塚先生の政治経済講演
30分間は勉強になります。県議から県政の話題等報告後、参加者と意見交換します。



12月3日(水)開催状況

TEL 054-645-8100
FAX 054-645-8111
メール s.o@thn.ne.jp
<http://www.ochiai-shingo.jp>

落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838



静岡県議会報告 五輪会

自民改革会議
静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟

活性化に取組む市町村を国が支援する『まち・ひと・しごと創生法案』が昨年11月に成立!!

人口急減・超高齢化というビンチをチャンスに変える。地方が自ら考え、責任を持って取り組むことが重要です。国は50年後に1億人程度の人口維持を目指し、将来に亘って活力ある日本社会の実現の為に「長期ビジョンと5か年計画の総合戦略」を示し、県と市町には地域の特性を踏まえた『人口ビジョンと総合戦略』の策定が課せられました。

1月26日に開会した国会で3.1兆円の補正予算が決定。地方創生は日本の創生との認識の下、全身全霊を傾げ取組みます。

静岡県の総住宅数は166万戸、世帯数139万世帯を約27万戸上回る(25年度の調査結果)!!

空家数27万戸、空家率16.3%で過去最高。平成20年比較で44,100戸増加した。一戸建ては936,000戸と67.8%を占める。

新耐震基準の昭和56年以降建築された住宅は69.4%。太陽熱温水器付住宅は6.7%、太陽光発電住宅は5%で全国11位。

全国の空家数は820万戸で社会問題化している。200mの家を解体して更地になると固定資産税が6倍、都市計画税が3倍になる。解体費を払った上に税金が上がるという二重の負担を強いられる。また、空家の土地のうち接する道路が幅4m未満は33.2%あり、道路に接していない住宅も3.8%ある。これら建築基準法を満たさない住宅は解体すれば、現状では建築することができない。



『日本海側に表層型メタンハイドレート!!』2年間で971箇所のガスチムニー構造を確認!!

海洋資源調査船「白峰」が『燃える氷』と呼ばれる氷状の天然ガス『メタンハイドレート』が存在するガスチムニー構造を隠岐周辺から日高沖まで調査し、日本海沿岸に広範囲に存在することが確認できた。メタンハイドレートが海底面から50m程度の深さまで厚さ10cmから1m程度で存在していることが分かった。地質サンプルも取得し、燃焼実験も行った。

日本の海洋資源調査に大きな力を入れている。天然ガスのメタンハイドレート調査・希少金属(アメタル)の热水鉱床調査である。昨年暮れに沖縄本島北西150kmの海域に近海最大の热水湖が確認された。天然ガスやアメタルは全量輸入に頼っているが早期に採掘開始されれば、世界中の期待を一気に集め、日本の産業経済は大きく発展し、高度成長期の時代を迎えることだろう。

『静岡県の人口減少対策への提言』発表!! (2010→2040)若年女性人口変化率30.1%(県推計①)

静岡県では、2007年12月の379万7千人をピークに人口減少局面を迎える。2014年10月の推計人口では369万8千人となった。

今後も減少が続き、2040年には300万人となり、人口構成も、年少人口(0~14歳)10.5%、生産年齢人口(15~64歳)52.5%、高齢者人口37%という超高齢社会を迎える見込みだ。全国ワースト2位の人口減少原因は東京圏に転出と外国人の減少である。

人口減少対策として1.人口減少抑制戦略(結婚気運の醸成・若者雇用生活の安定化・子育て支援の充実・健康長寿の延伸) 2.人口減少社会への適応戦略(生産性の向上・働き方の変革・地域における新しい絆の形成・地域の国際化)を掲げている。

12月議会 知事報告



川勝知事は南アルプス山麓地下400mを通過するリニア新幹線の環境影響調査を国に完成まで継続要請している。

東海道新幹線の空港駅を2020年までに設置したいと調査費を計上した。

1. 富士山火山防災対策、9月の御嶽山の噴火災害を教訓に登山者への情報伝達や安全対策の調査費を計上した。

2. 12月7日の「地域防災の日」に大規模な災害の発生を想定した自主防災組織を主体とした地域防災訓練を実施。

3. 内陸フロンティア推進地区が2次指定で17市町37区域となった。複合型魚市場や森の防潮堤など取組が進む。

4. 「島田市お茶の郷」を県が購入。『茶の都』の拠点として茶産業の振興・茶文化の継承を世界に向けて発信する。

5. 有効求人倍率が1月以降1倍を上回って推移。成長産業戦略会議で決定した4つの戦略に沿って施策を実行する。

6. 富士山世界遺産保全状況報告書は28年2月に提出となっている。基本条例の制定を2月議会に提案していく。

7. 2020年東京五輪に向けて、3月までに誘致戦略を策定する。ロンドン五輪成功事例の調査費用を予算化した。

8. 「ラクビーワールドカップ2019」が3月に開催都市が静岡に決定するよう魅力をアピールし、機運を盛り上げる。

9. 富士山静岡空港の10月利用者は4万7千人、搭乗率67.6%だった。県西部地域に乗合タクシー運行実験する。

10. 産品の海外販路開拓支援で10月に台湾・中国の輸入業者を招き、県内事業者との商談会を実施した。

11. 友好締結3周年のモンゴルのドルノゴビ県から知事を團長に訪問団28名、中学生20名を迎えて記念式典を開催。

12. 危険ドラッグによる死者数や摘発件数は、増加の一途である。運送業者の責務など本県独自の条例を策定したい。

13. 団塊世代が後期高齢者となる2025年には、医療介護サービスの構築が課題。事業実施のための基金条例を図る。

文教警察委員会報告

12/15公安委員会(警察本部)



1. 9月議会委員会で「藤枝駅前は黒服の客引きが多く、住民や塾帰りの学生が不安を感じている。」と調査を要請した。生活安全課長答弁……落合県議の要請を受け、10月24日、31日と2日、路上で取締りを行い、2名現行犯逮捕した。

今後、誘引禁止地域として県迷惑防止条例に藤枝市も参加してもらうよう働きかけて行く。

2. 運送電話チェッカーの実証実験100世帯に藤枝市を選定した理由と100世帯の選定基準は、また期間と費用はどうか。

生活安全課長答弁……選定理由は藤枝市が振り込め詐欺被害が多い。100世帯は希望者を募った。2年間で無償。

3. 騙されたふり作戦の状況と成果について、規模が小さな警察署の場合、人員不足で対応できない場合の処置はどうか。

生活安全課長答弁……振り込め詐欺は80件で7件9人検挙した。うち2件は暴力団。人員不足の場合は他署等応援。

12月28日に「俺、しんご」という振り込め詐欺の電話が家にあった。1回目「体が調子悪い」病院に行く、翌日2回目「女を妊娠させた」仲介人に現金を送ってくれ。警察と連絡し、騙された振りをしたが振込を主張され、喧嘩別れした。今回で2度目である。

12/16教育委員会



1.